

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

公開実用 昭和60—106568

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭60-106568

⑬ Int.Cl.⁴

A 47 L 9/06

識別記号

庁内整理番号

A-6864-3B

⑭ 公開 昭和60年(1985)7月20日

審査請求 未請求 (全 頁)

⑮ 考案の名称 掃除機用吸込具

⑯ 実 願 昭58-202101

⑰ 出 願 昭58(1983)12月26日

⑱ 考 案 者 梅 田 克 彦 大阪市阿倍野区長池町22番22号 シャープ株式会社内

⑲ 出 願 人 シャープ株式会社 大阪市阿倍野区長池町22番22号

⑳ 代 理 人 弁理士 福士 愛彦 外2名

明 細 書

1. 考案の名称

掃除機用吸込具

2. 実用新案登録請求の範囲

1. 吸口の周縁部に硬軟 2 種類のブラシを適宜組合せて配設すると共に、軟質ブラシの先端を硬質ブラシの先端より突出させてなる掃除機用吸込具。
2. 軟質ブラシと硬質ブラシとを交互に配設してなる実用新案登録請求の範囲第 1 項記載の掃除機用吸込具。
3. 軟質ブラシを外側に、硬質ブラシを内側にして、内外 2 列にブラシを配設してなる実用新案登録請求の範囲第 1 項又は第 2 項記載の掃除機用吸込具。
4. 硬質ブラシを吸口側に傾斜させてなる実用新案登録請求の範囲第 3 項記載の掃除機用吸込具。

3. 考案の詳細な説明

(技術分野)

本案は掃除機用吸込具に関するものである。

(1)

(従来技術)

従来、この種の吸込具は軟質ブラシ若しくは硬質ブラシの何れか一方を吸口の周縁部に配設していたが、軟質ブラシの場合には被掃除面上を移動する際ブラシ部全体が倒れ過ぎてブラシによる掃き作用を余り期待できず、しかもブラシが移動方向と反対方向に倒れる為、ブラシ先端による埃の捕捉作用も期待できないことになり、捕塵性能が低いという欠点があった。又、硬質ブラシの場合には柔軟性に欠ける為に、ブラシによる掃き作用を期待できず、やはり捕塵性能の低いものになっていた。

(目 的)

本案はかかる点に鑑みてなされたもので、硬軟 2 種類のブラシを適宜組合せることにより、捕塵性能の極めて高い吸込具を提供できるようにしたものである。

2 (実施例)

以下図面に示した本案の実施例について詳細に説明する。

(2)

先ず、第 1 図乃至第 3 図において、1 は応用吸込具の本体で、台取付開口部 2 を有しかつ該開口部 2 の外周に保護用バンパー 3 を装着する。4 は本体 1 の台取付開口部 2 に複数個の爪 5 を以って嵌着したブラシ台で、中央部に吸口 6 を有し、この吸口 6 の周縁部には硬軟 2 種のブラシ 7, 8 を全周に渡り内外 2 列に配設する。

上記軟質ブラシ 7 は細い毛を多数寄せ集めたもので、全周に渡り略等間隔に配設される。硬質ブラシ 8 は太い毛を多数寄せ集めて上記ブラシ 7 より稍硬くしたもので、軟質ブラシ 7 より内側にあって全周に渡り略等間隔に配設されており、軟質ブラシ 7 とは周方向に向って交互に位置する。又、軟質ブラシ 7 はその先端を硬質ブラシ 8 の先端よりも数ミリ程度突出させてある。

上記構成において、軟質ブラシ 7 は硬質ブラシ 8 の存在により全体に倒れてしまうことがなく、適度の弾力性を発揮できる状態にあり、又その先端部（硬質ブラシ 8 よりも突出した部分）は被掃除面との接触により撓み押し広げられる状態にあ

る為、充分な掃き作用を発揮することができる。
従って、軟質ブラシ 7 により細かい埃を掃き集め
ながら、硬質ブラシ 8 の先端で綿埃、糸屑等を捕
捉して、吸口 6 より効率よく吸込ませることがで
き、両ブラシ 7 , 8 の相乗作用により極めて高い
捕塵性能が発揮される。

次に、第 4 図乃至第 6 図は本案の他実施例であ
り、硬質ブラシ 8 を吸口 6 側に適宜角度（例えば
15 度程度）傾斜させて該ブラシ 8 の先端による
綿埃の捕捉効果をより高めたものである。

尚、本案においては、軟質ブラシ 7 と硬質ブラ
シ 8 とが適宜組合わされ、軟質ブラシ 7 の先端が
硬質ブラシ 8 の先端より突出しておればよく、例
えば両ブラシ 7 , 8 を同列上に交互に配設しても
よい。又、本案は床用吸込具に実施することもで
きる。

（ 効 果 ）

以上の如く本案吸込具は、硬軟 2 種類のブラシ
を組合せて配設し、軟質ブラシの先端を硬質ブラ
シの先端より突出させたことにより、両ブラシの

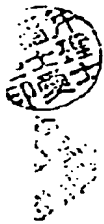
相乗作用によって極めて高い捕塵性能を発揮でき、
実用上非常に優れたものである。

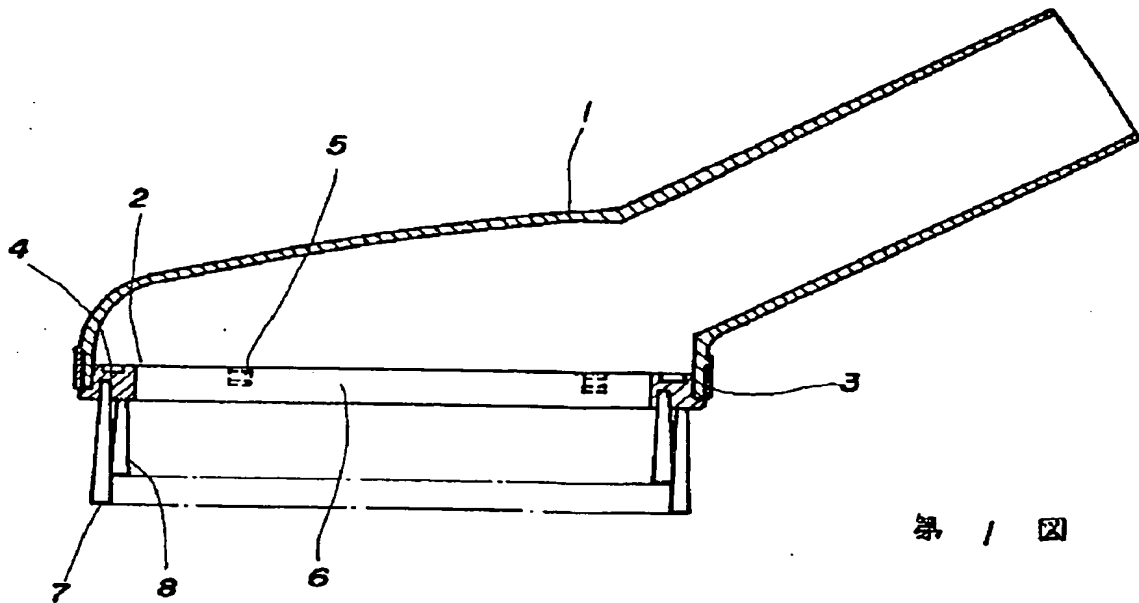
4. 図面の簡単な説明

第1図は本案吸込具の一実施例を示す断面図、
第2図及び第3図は同上ブラシ台の平面図及び断
面図、第4図は本案吸込具の他実施例を示す断面
図、第5図及び第6図は同上ブラシ台の平面図及
び断面図である。

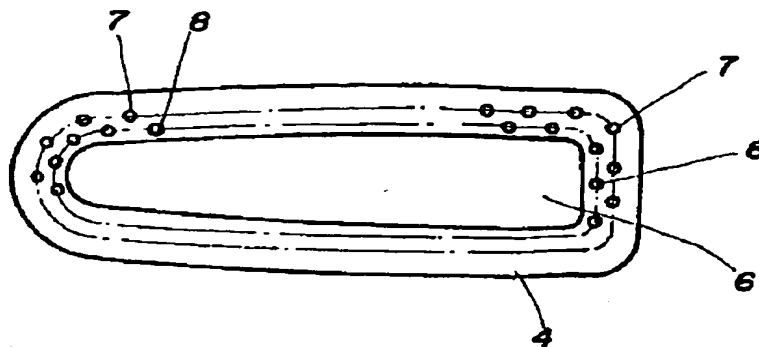
6：吸口、 7：軟質ブラシ、 8：硬質ブラ
シ。

代理人 弁理士 福 士 愛 彦（他2名）

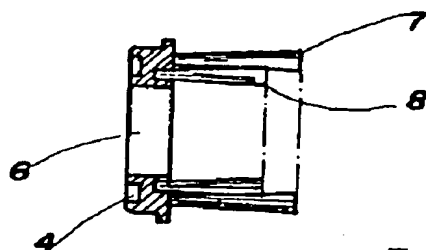




第 1 図



第 2 図

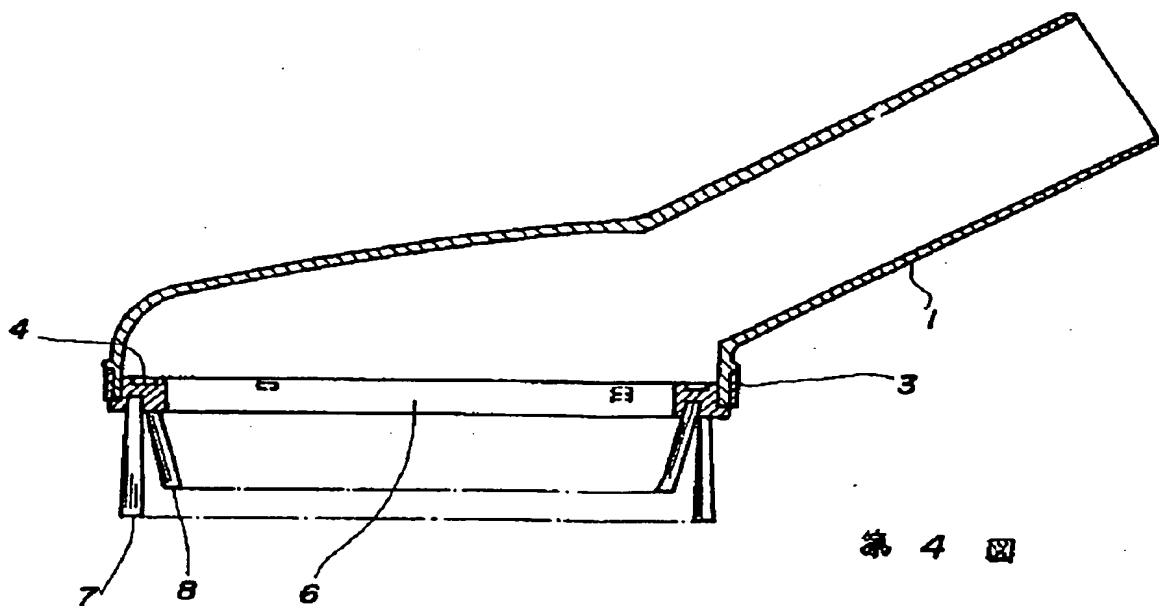


第 3 図

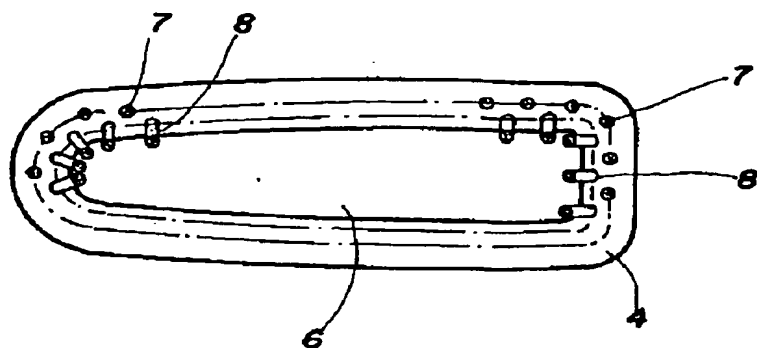
672

実開60-106568

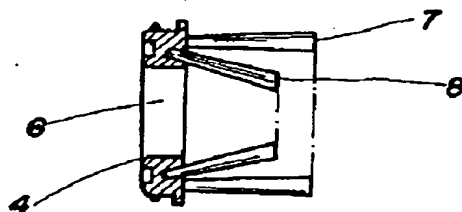
出願人 シャープ株式会社
代理人 福士愛彦(428)



第 4 図



第 5 図



673

第 6 図 実開60-10636

出願人 シャープ株式会社
代理人 福士愛彦(特2名)